

学校教育課の目標（令和7年度）

学校教育課長 榎本 泰之

1 課の役割

学校教育課は、児童生徒の生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな身体）の育成を目指して、地域とともに歩む町立小・中学校の学校運営の充実に支援する役割を担っています。

2 個別事業とその目標

1 学校運営への支援

- （1） 創意ある教育課程を推進し、学力の向上を図ります。
- （2） 学習指導等専門支援員、介助員等の配置により、個に応じたきめ細かな指導を推進します。
- （3） 1人1台端末の活用を中心に授業改善の推進を図る ICT 授業支援教員、ALT のサポートや外国籍児童生徒への日本語指導を行う教育アドバイザーを配置し、学校運営を支援します。

2 特色ある教育活動の推進

- （1） 人権・同和教育の推進に努めます。
- （2） 教育ファシリテーターを活用し、ふるさと学習（酒々井学）を推進し、地域に誇りと愛着を持つ児童生徒を育成するとともに、主権者意識を育む中で、町や地域等に貢献できる児童生徒を育成します。
- （3） ALT の積極的活用により、英語力を高め国際社会で活躍できる児童生徒を育成します。
- （4） 酒々井中学校生徒を対象とした国際交流派遣事業により、現地のホストファミリーと過ごし、交流校で共に活動することを通して、コミュニケーション能力を高め国際社会に対応できる人材を育成します。
- （5） 保育園・こども園と小学校のふれあい交流会、小学校と中学校間の学習や基本的生活習慣の継続的な取組により、保小中が連携して一貫性のある指導を実践します。

3 教職員の資質や指導力の向上

- (1) 不祥事根絶に向けて研修を進め、教職員に高い倫理観を維持させます。
- (2) 学校の求めに応じて教育アドバイザーを各校に派遣し、特に若年層教員の指導力向上のためへの助言・指導を行います。
- (3) 「教職員の特色ある教育研究支援事業」をとおして、教職員の自主的な教育研究を支援します。

4 教育条件の整備

- (1) 墨、馬橋、伊篠地区でスクールバスを運行し、酒々井小学校児童の交通手段を確保します。
- (2) 「修学旅行への助成事業」により、保護者の経済的負担軽減を図ります。
- (3) 部活動の地域展開を試行し課題を整理することで、翌年度から地域展開が可能な部活動を増やします。

5 チャレンジ目標

- (1) 千葉県の人材評価制度の適切な運用がなされるよう各校に指導し、評価の信頼性を高めるとともに、評価が人材育成につながるよう、意識化を図ります。
- (2) 中学生の英語検定を積極的に支援し、主体的な学習による英語力の向上に努めます。
- (3) 学校の行う不登校対策への支援を実施します。
- (4) 教員の働き方改革を推進し、児童生徒と向き合うことのできる時間の確保を図ります。